

2013年1月10日

公益財団法人損保ジャパン記念財団  
株式会社損害保険ジャパン

## 社会福祉分野「海外助成」の決定

ASEAN加盟国の6団体に、合計400万円を助成

株式会社損害保険ジャパン（社長 櫻田謙悟、以下「損保ジャパン」）が出捐している公益財団法人損保ジャパン記念財団（理事長 佐藤正敏、以下「損保ジャパン記念財団」）は、海外における社会福祉の向上を目的に、「海外助成」を実施しています。

このたび、ASEAN加盟国で社会福祉活動をする非営利団体を対象に募集を行い、6団体に合計400万円の助成を決定しました。2013年3月末までに現地で贈呈式を開催する予定です。

### 1. 「海外助成」の概要

損保ジャパン記念財団は、国内で実施している助成制度を発展させ、海外（特に開発途上にある国・地域）の社会福祉の向上を目的に、2010年から「海外助成」を実施しています。

当助成は、募集対象国に在住する日本企業の現地駐在員の推薦にもとづき、募集対象国において、社会福祉分野の非営利団体が行う活動を対象としています。

なお、本年度の募集対象国はASEAN加盟国（ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム）となっています。

### 2. 助成先について

選考委員会で厳正な審査を行った結果、シンガポール、マレーシア、フィリピン、タイ、ミャンマーに本部を置く6つの非営利団体に合計400万円の助成を決定しました。詳細は別紙のとおりです。2013年3月末までに、各助成先で贈呈式を開催する予定です。

#### [ご参考]

損保ジャパン記念財団は、1977年10月1日、安田火災海上保険株式会社（現：損保ジャパン）の出捐により、同社の社会貢献活動の一翼を担うものとして設立されました。損保ジャパン記念財団の主な活動としては、本件のほか、社会福祉団体に対する自動車購入費助成、わが国における優れた社会福祉学術文献を表彰する「損保ジャパン記念財団賞」、および社会福祉・社会保険・損害保険に関する研究助成や研究会、講演会の開催などがあります。

以上

#### <本件に関するお問い合わせ先>

公益財団法人損保ジャパン記念財団 課長 丹保 有充 （電話：03-3349-9570）

株式会社損害保険ジャパン コーポレートコミュニケーション企画部 CSR・環境推進室

室長 酒井 香世子（電話：03-3349-9257）

## 助成先一覧

国	団体名	助成金の使途	助成金額
シンガポール	Singapore Disability Sports Council	障害者スポーツの振興を目的とした障害児水泳大会の開催費。	50万円
マレーシア	Rajang central zone Community Service Association(RCS),	障害者のデイセンターの衛生環境改善費(ネズミから食料を守るための冷蔵庫・食料保管庫、実習のための調理台などの購入費)。	50万円
フィリピン	Adaptive Technology for Rehabilitation, Integration and Empowerment of the Visually Impaired(ATRIEV)	IT技術の習得による視覚障害者の就労支援(PCと周辺機器購入費)。地方でトレーニングを実施するための必要器材購入費。	80万円
タイ	Foundation for Women	女性(女児)の人権保護等を目的とした団体の活動を推進するリーダー育成にかかる費用など。	100万円
タイ	AUTISTIC THAI CHONBURI CENTER	自閉症児支援センターのプロジェクト運営費(乗馬セラピー、絵画や縫い物教室など)。	50万円
ミャンマー	Free Funeral Services Society	貧困者支援を行う団体の無償医療の提供などにかかる費用。	70万円